

令和4年第5回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和4年4月21日(木)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	9:30
	閉会時刻	10:09
場所	真庭市本庁舎3階 教育委員室	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 常本 直史	
会議録作成者	教育総務課 上級主事 美甘 仁美	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ッ 宗 宏	
教育長職務代理者	井 口 利 美	
委 員	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	安 藤 紀 子	
教育総務課長	浅 野 晃 彦	
学校給食推進室長	丸 山 昭 良	
学校教育課長	秋 元 紀 幸	
生涯学習課課長	谷 岡 理 江	
図書館振興室長	黒 田 裕 子	
教育総務課上級主事	美 甘 仁 美	

3 傍聴人

な し

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	常本委員
第 3	教育長諸報告	安藤教育次長
第 4	付議事件	
	議案第 24 号 令和 4 年度真庭市教育基本方針について	原案可決
	議案第 25 号 令和 4 年度学校運営協議会委員の任命について	原案可決
第 5	その他	
第 6	閉 会	

5 議事の概要

(9時00分 開会)

○三ツ教育長

これから第5回教育委員会会議を開催いたします。以下議事日程に従い進めてまいります。新年度がスタートして20日が過ぎようとしています。各学校では、コロナが治まらない中であっても、それぞれ校長先生が描く学校経営方針に従い、スタートをしている状況であります。子ども達の登校の様子も、希望に燃えて学校に向かっているという話も聞いております。そして、学校給食関係で中央食育センターの稼働が開始し、落合地区の給食の配送がスタートしている状況であります。本日、学校給食推進室長も出席されているので、何か質問がありましたら聞いて頂けたらと思います。こういった中で本日を迎えておりますが、1点情報提供も含めて話をさせていただけたらと思います。年度毎の出生数の資料をご覧ください。こちらの数値は、変化する可能性があります。生まれてきた子の人数は変わりませんが、都市部から帰省される方もおられます。固定的に見る必要はありませんが、今こういった状況となっています。少子化に拍車がかかっている状況です。これは旧町村別ですので、学校別に見るともっと厳しい状況の所もあります。そう遠くない将来に、小学校、中学校に在籍している児童生徒の数が相当数減る学校もあります。また、近い将来、複式編成となる可能性がある学校もあります。こういった状況があるということを見据えて、これからの教育行政を考えていかなければならないと強く感じています。「持続可能な教育の在り方を、どう真庭で考えていけばよいのか」ということが、今我々が直面している一番大きな課題だと、常々思うところであります。また、先日校長会で、【予測可能な未来を一定程度考えつつも、今ある子ども達が充実して幸せな学校生活を送ることを最大限に追求していかなければならない。そのために、「学校と地域の協働」を今行っていかなければ、子ども達も育たないし、また地域の活気も持続されない】というお話しをさせて頂きました。そして、その中核として「心を寄せて聞く」「対面で相手を慮る」

ということを大事にしながら、これからの教育活動をしていって欲しいということをお伝えしました。「関心をもつ」「共感する」こういったことを大事にしながら、地域と繋がった教育活動をしていけたらという思いでお話しをさせて頂いています。正解はありませんが、数字は一定程度、予測可能な部分があります。それも冷静に見つつ、これから先のことをこの場でしっかりと議論していけたらと思っています。よろしく願いいたします。

続いて、日程第2 署名委員の指名ですが、今日は常本委員さんお願いいたします。

○常本委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第3 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○安藤教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま報告させていただきましたが、何かご質問等ありますでしょうか

○徳山委員

除雪の事故について、こういった状況であったか教えてください。

○安藤教育次長

除雪用のスコップで作業していたところ、セメント(地面)の割れ目に引っかかり、手首を強く突いたようです。手の負傷のみで、その他の損傷はありません。

○三ツ教育長

そのほかありますでしょうか。

○高谷委員

コロナ感染について、感染した児童生徒の内、症状が出ている子、無症状の子の割合はどれくらいでしょうか。

○安藤教育次長

症状としてはほとんどの子が発熱していますが、無症状の子もいるようです。重症の子もおりません。

○秋元学校教育課長

今、次長の申したとおりで、8割くらいの子に何らかの症状が出ています。主に、発熱・咳ですが、鼻水だけ、腹痛だけの児童生徒もいます。中には、無症状で、家族の濃厚接触者のため検査したところ陽性だったということで自宅療養している児童生徒もおります。また重症化した児童生徒は一人もおりません。重症化の定義にもよるかもしれませんが、最も熱が高かった子で39度の発熱がありましたが、1日半ほど続いた後、2日目には下がっています。こちらが、我々の把握している中で一番症状が長引いたケースです。

○常本委員

コロナ感染について、学年での特徴はありますか。

○秋元学校教育課長

全体的に家庭内感染が多く、学年による差はありません。どの学年も同じように感染があります。

○三ツ教育長

感染者はある程度出ておりますし、真庭市全体でも人口比で考えると50人に一人くらいにはなるのではないのでしょうか。岡山県内で考えると、もっと少ない人数に一人は出ていると思います。この間、学校での感染拡大はありませんが、家庭内あるいは仲の良い友達同士で複数名が感染するというケースはあります。症状についてですが、本当に酷い症状の報告は受けていません。そして、これまでの傾向として、回復はかなり早いと聞いております。

そのほかありますでしょうか。

○安藤教育次長

コロナ感染症について、昨日、市内施設で1件陽性が確認されています。こちらも家庭内感染で、他の感染はありませんでした。

○三ツ教育長

よろしいでしょうか。

それでは、続いて日程第4付議事件です。議案第24号 真庭市教育基本方針について、お願いします。

○浅野教育総務課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

基本方針について、概要の説明がありました。委員の皆さんから何かありますか。これまでに議論をいただいてきた教育振興基本計画に基づいた内容となっています。全て挙げることはできないため、その中の核の部分のみ、基本方針として挙げさせて頂いております。

○常本委員

全体的には良くまとまっていると思います。地域を題材にした探求的な学びや支え合う環境づくりを通じて力をつけるということだと思いますが、個人的には基礎的な学力の向上というものがなければ、様々なことに繋がっていかないのではないかと感じています。基本方針に入れるかはわかりませんが、この理念を学校へ伝えていく際に、日頃の授業での基本的な学力が土台であり、学習を大事にするということ伝えて頂けたらと思います。

○秋元学校教育課長

とても重要な視点をご指摘頂き、ありがとうございます。教育委員会の基本方針としては、柱としてこの3点を挙げています。学校教育課から学校へ示している「グランドデザイン」の今年度の方向性の中でも、1つ目の柱と同じインクルーシブ教育やキャリア教育というものを挙げていますが、それをささえる土台として、学力を含めた知・徳・体の基礎的な力の育成も挙げています。やはり、我々も基礎的な力の向上がなければ、その先の発展は見込めないと思っておりますので、大前提としてこの観点は大事にしてほしいということは、学校へも伝えております。

○常本委員

先日の学力学習状況調査の国語の問題で、漢字を書かせるような問題ではなく、文章を読んで意図を読み取るような出題がありました。文章から読み取って回答するということは、より発展的な基礎知識が必要になると思います。漢字を書く等の練習も重要ですが、本を読み、読んで理解する、ということさらさらに深めていかなければ、解けない出題が増えていくと思います。どの教科についてもそうになっていくような気がしました。環境づくりや地域学習もとても大切な学習だと思いますが、根幹として基礎的な力がしっかりと無ければ、問題が解けるようにならないのではないかと感じました。

○秋元学校教育課長

ご指摘のとおりだと思います。学校でも漢字や計算の繰り返しはもちろんですが、授業の中での対話や、友達の意見を聞いてさらに一步進んだ考えを導き出すような授業づくりに取り組んでおります。そして、授業づくりだけでなく、人間関係づくりについても大事な観点だと捉えております。昨年度もその充実に向け、学校教育課指導主事が中心となり学校へ指導をしてきましたが、今年度も引き続き研修会等や学校授業参観等に出向き、指導していく予定であります。

○三ツ教育長

そのほかありますでしょうか。

○井口委員

教育基本方針とは直接関係ないかもしれませんが、私達より上の世代から、孫の勉強を見てあげたくても、やっていることがよくわからないという声を聞きました。昔と現在で教科書の内容が違ってくるのは仕方ないと思いますが、私自身も家庭での学習の見守りについて、指針のようなものがあればいいなと感じています。

○三ツ教育長

ありがとうございます。家庭での学習の見守りについて、何かありますか。

○谷岡生涯学習課長

生涯学習課では家庭学習支援チームを創り、親育ちプログラムを開催したりして、親から子どもへの関わりについて支援を行っています。支援チームには、元教師や保育士等の専門知識をもった人が加わっており、それぞれの専門性を発揮して、家庭学習や子どもとの関わりについての支援ができればと思っております。

○三ツ教育長

子どもとどう関わるかについては正解がないので、学校での懇談会等で悩みを共有することが大事だと思います。昔と現在の学びの内容は必ずしも同じではありません。その辺りの混乱もあると思います。こういったことを議論して、保護者としてどのように子供の学びに伴走していけばよいかということ、学校でも話し合いの機会を設けることが大事かだと思います。

そのほかありますでしょうか。それではお諮りいたします。議案第 24 号 令和 4 年度真庭市教育基本方針について、ご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

では、異議なしということで原案可決でお願いします。

続いて議案第 25 号 令和 4 年度学校運営協議会委員の任命について、お願いします。

○秋元学校教育課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

教育委員会で任命するということになっておりますので、この場でお諮りをしたいと思います。この件について委員の皆さんからご質問等ありますでしょうか。

○徳山委員

人選を見せて頂いて、それぞれの学校がとてもよく考えられているのだなと思いました。中には、「小・中」、「保・小・中」等の連携で、兼ねる方もおられ

るということで、とてもよいことだと感じました。今後、「保・小・中・高」の連携が進められるような人選を考えて頂けたらいいのかなと思います。

○三ツ教育長

ありがとうございます。中学校区あるいは高校も含めて、協議会同士の連携を今後どのような体制にしていくのかということは、とても大事なことだと思っています。

そのほかありますでしょうか。それではお諮りいたします。議案第 25 号 令和 4 年度学校運営協議会委員の任命について、ご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

では、異議なしということで原案可決でお願いします。

付議事件は以上です。続いて日程第 5 その他です。委員の皆さんからなにかありますか。では、日程にはありませんが、学校給食推進室長から新体制での給食のスタートの状況を報告していただけますか。

○丸山学校給食推進室長

はい。学校給食推進室長の丸山と申します。各調理場及びセンターの場長も兼務しております。よろしくお願ひいたします。

令和 4 年度の学校給食ですが、学校給食整備計画に伴い、落合地区小中 7 校分の給食を真庭中央食育センターに移行という形で整備を終了しております。それに伴い、市内センター及び共同調理場施設は 6 施設、八束小学校だけが自校式の形で残っております。

給食については、令和 4 年度は 4 月 7 日よりスタートしております。真庭中央食育センターは 8 日より稼働しております。週明けの月曜日から、全ての調

理場で給食がスタートしております。

今回、真庭中央食育センター稼働ということで、多くの調理員について異動がありましたが、全てにおいて順調にスタート切ることが出来、現在まで約10回程度の給食を提供し終えた状況です。中央食育センターを、今後さらに食育・地産地消に向けて活用していけるよう進めて参りたいと思っています。

○三ツ教育長

スタートの状況説明がありましたが、委員の皆さんからご質問等ありますでしょうか。そのほか事務局からなにかありますか。

それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

(10時09分 閉会)